

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ミライ・シア

② 施設・事業所情報

名称：アスク向ヶ丘遊園北保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：中村 幸恵	定員（利用人数）：75名
所在地：神奈川県川崎市多摩区登戸514-1	
TEL：044-922-2280	ホームページ：nihonhoiku.co.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2011年4月	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社日本保育サービス	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員：12名
専門職員	保育士：18名 調理師：4名
	看護師：1名 用務員：1名
	栄養士：2名
施設・設備 の概要	保育室：6室 調理室：1室
	事務室：1室 相談室：1室
	トイレ：5か所 園庭：有

③ 理念・基本方針

<p>【経営理念】</p> <p>子育て支援を通じて 笑顔溢れる社会づくりに 貢献します 〇コーポレートメッセージ：すべてはこどもたちの笑顔のために グループ運営理念</p> <p>01. 安全&安心を第一に保育・育成を実施します 02. いつまでも思い出に残る施設となるよう日々の保育を大切にします 03. 職員が楽しく働けることでこどもたちを笑顔にします 04. 地域とつながり支え合う施設として社会に貢献します 05. 常に時代が求める子育て支援を実践し続けます</p> <p>【保育理念】</p> <p>未来あすを生きる力を培う</p> <p>【保育方針】</p> <p>自ら伸びようとする力を支えます こどもが本来持っている“育つ力”に注目し、周囲の環境に興味・関心を持って自ら関わろうとする意欲を支え、自信を育みます。 五感を養って感性を豊かにします 身近なものに関わり、五感を使った実体験を積み重ねることで、豊かな感性を高め、思考力・想像力を育みます。 後伸びする力を育みます こどものありのままの姿を受け止め、共感し接することで、探求しやり抜く力、感情をコントロールする力、人と関わる力を育みます。</p>

④ 施設・事業所の特徴的な取組

〇多彩なプログラムを実施して、こどもたちの興味・関心を引き出している

○地域に開かれた保育の提供を実施している
○安全・安心を第一に、防犯対策・防災対策や職員・園児の安全教育を多く取り入れている

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年8月1日（契約日）～ 令和6年3月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	8回（平成29年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1. 一人ひとりの子どもを大切にしたい保育

保育の方針を「一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細やかな保育を行う」としています。

各種会議、昼礼（毎週実施）、打ち合わせ、議事録、園内研修などで情報の共有化を図って子どもの様子を話し合い、保育環境も見直しながらそれぞれの子どもの興味や発達を大切にしたい保育が行われています。一人ひとりの子どもの状態に合わせた対応を心がけ、子どもの気持ちや言葉を十分受け止め、子どもとの信頼関係、保護者との信頼関係を作り、子育ての楽しさを共感し合えるように努めています。

2. 安全への熱心な取組

運営理念の一つに「安全&安心を第一に保育・育成を実施します」があります。中期計画、単年度事業計画に安全対策に関する具体的な事項を定めています。園内に安全対策係をおいています。

非常時の対応（第一発見者、他児のケア、CPR（心肺蘇生）交替等）がすぐに確認できるようカードにひとまとめにした小型ファイルを園内の数か所に設置し、いつでも確認できるようにしています。保育室に、「見て触れて命を守るあおむけ寝」「ごちそうさま必ず確認口の中」等の標語が掲示してあり、保育中の注意喚起を促しています。散歩の場合、園周辺、公園までの道、公園内の安全を定期的に職員が確認し終えてから、出かける事としています。

毎月の園だよりに「あんぜん・あんしんトピックス」のコーナーを設け、日常生活での注意点等を知らせています。

3. 職員が各係を担当し質向上を目指す努力

職員は、安全対策係、絵本コーナー係、地域交流係に属し、年間の活動計画を策定しています。具体的な取組に向け、係で話し合い実行するとともに、昼礼（毎週の会議）で、進捗状況や実施内容、結果等を話し合い、課題等も抽出し、次の目標に繋げています。地域交流はコロナ禍のため参加者が少ない状況ですが、取り組みを継続し、参加者が増えるよう努力しています。話し合いや計画を実践していくことで互いのサービスの質の向上につながっています。

4. 園では2021年度から2025年度を対象期間とする「長期計画・中期計画」を策定しています。長期計画は2021年度から2025年度を対象期間とし、計画目標のみを記載しています。中期計画では長期計画の目標を踏まえて具体的な目標を掲げていますが、中期計画の数年間（例えば3年間）分をまとめて策定しておらず、1年度分のみ策定しています。例えば、今年度は、中期計画として2023年度の1年分のみを策定し、2023年度から2025年度の3年間を通して計画を策定することなどはしていません。中期計画の対象期間、例えば、3年間分をまとめて策定したうえで、必要に応じて見直しをしていくことが期待されます。

5. 「学生実習生受け入れガイドライン」があり、実習生を受け入れる体制は整えており、園のホームページでも実習生募集の掲示をしています。しかしながら、コロナ禍により受け入れを中止していた状態で、昨年度も受け入れ実績はありません。ボランティアの受け入れに関しても、「ボランティア受け入れガイドライン」を作成しており、園のホームページにおいてボランティア募集の掲示をするなど、受け入れの用意はありますが、ここ数年は受け入れ実績がありません。福祉人材の育成や地域交流のさらなる促進のためにも、実習生やボランティアの積極的な受け入れが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価を受けて、園の課題や方向性などを見直す機会となりました。当園が日頃大事にしている、子どもたち一人ひとりの育ちに寄り添った保育は、今後も職員同士で話し合い様々な研修などに参加して、人権を尊重した保育の推進と向上をしていきます。保育の安全性に関しては、全職員が意識を高め、安全安心にお預かり出来るように、今後も対策を重ねていきます。コロナ禍も明けて、今後は以前の様に実習生など人材育成に繋がる受け入れを進めていきたいと検討しています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり